

祇園新橋 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

2017年(平成29年)
9月

Vol. 28

発行：祇園新橋まちづくり部

TEL:090-1918-4249(富田)

Email:gionshinbashitatumi@gmail.com

HP: <http://gion-shinbashi.blog.jp/>

第34回 意見交換会のご案内

来年どうする!? 祇園白川宵桜ライトアップその2

来年も中止? それとも再開?

【日時】2017年9月14日(木) 午後1時30分~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております!

報告 喫煙マナー啓発活動

8月4日(金)夜に新橋の一部が燃えるボヤがありました。原因はたばこのポイ捨てとみられます。意見交換会でも、路上の吸い殻が増えた、側溝内の落葉から煙が上がっていた、等が報告されました。

そこで、8月16日(水)に区役所、消防、警察の行政と連携して、喫煙マナーの啓発のために、チラシ配りをいたしました。

さらに、8月25日(金)には、京都市の担当部局に過料徴収区域(路上喫煙等禁止区域)追加指定の要望書を提出いたしました。(※)

※京都市では、路上喫煙によるやけどなどの被害を未然に防ぎ、健康への影響も抑えることを目的として、市内全域が路上喫煙禁止になっており、特に市内中心部と京都駅地域および、清水祇園地域(祇園新橋地域は入りません)が指定地域として、違反者には1000円の過料が課されています。



チラシをなかなか受け取ってもらえず...という感想が多かったです(^^;)

取組 9月は「屋根・雨どいの点検」強化月間!

建物の内部に雨水が入らないようにすることを「雨仕舞」といいます。雨仕舞が悪いと、次から次へと建物全体に傷みが広がってしまいます。

地域に多く残る伝統的な木造建築は、木と土で作られていますので、特に被害が大きくなってしまいます。早め早めの処置が大切です!

9月は台風のシーズンになります。祇園新橋まちづくり部ではこの9月を「屋根・雨どいの点検」強化月間にしました。皆さん、今月はちょっと目線を上げて雨どい・屋根をチェックしてください!

伝建地区内では伝統的な建物について、簾取替だけでなく雨どいや屋根などの外観に関わる工事にも、京都市の補助制度があります。まちづくり部では京都市への補助申請等のお手伝いをさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

(問合) 富田:090-1918-4249



雨の日がチェックには最適ですよ!
また、2階の天井にシミができていれば要注意です!!

報告 意見交換会<祇園新橋の風情を守る！計画書づくり>

第33回意見交換会では、景観づくりキャンペーンの振り返りで、台湾で行われた観光キャンペーンの報告が行われたほか、景観まちづくり協議会で協議の中心になることが予想される、屋外広告物（のれん、看板等）の規制について、京都市担当課からの説明の後、実際の写真をスクリーンで見ながら、祇園新橋地域にふさわしい屋外広告物のデザイン等について意見交換を行いました。現状として違反広告はないが、規制範囲内であっても、違和感を感じるものもあることがわかりました。



8月8日（火）「登希代の2かい」にて。参加者は20名でした。

【意見交換会のご報告】

1. 景観づくりキャンペーン：今後に向けて

- ・前撮りのマナーが悪くて困っていると話をした。
- ・そもそも国民性、文化の違いというか、撮影に許可が必要という発想がない。法律で決まっていなければ、撮影してもいいだろうという感じで、受け入れてもらえなかった。
- ・アジアの業者は4月と11月は京都を押ししており、11月の紅葉の季節は、京都での前撮りを多く企画している。京都女子大のチラシ配布キャンペーンを秋にも開いてはどうか。
- ・京都のネームバリューを使っている。
- ・次にチラシを作るなら、韓国語より中国語（広東語）。シンガポール人は英語も中国も理解できる。

■京女での打合せの報告（7/31）と意見交換

- ・前回のキャンペーンと同じようにやっても意味がないと考えている。
- ・個人にチラシを配っても効果が小さいので、業者に声をかけるべき。
- ・なぜマナーを守らないといけないうか知ってもらうため、地域の歴史、文化的価値を伝えてはどうか。
- ・看板設置など、相手に注意事項を明確に伝える手段も検討しなくてはならない。
- ・店の前のコケがひっくり返された。垣根を超えて勝手に敷地の中に入ってくる。
- ・「かにかくに」の碑に上ってビールを飲む人もいる。
- ・垣根の中に使用済みのオムツを捨てられたり、子ども（幼児？）が垣根の中で用を足した形跡がある。
- ・中国では当たり前の文化らしい。
- ・朝、酒のびんやビールの空き缶が、その辺に捨てられていることもある。

2. 祇園新橋の風情を守る！計画書づくり

■祇園新橋景観づくり協議会・協議地区内の屋外広告物の規制について （京都市広告景観づくり推進室・大野木係長から説明）

- ・祇園新橋の協議会範囲内では、伝建地区＝規制が非常に厳しい祇園新橋特別規制地区、伝建地区以外では、縄手通の道路界から15mの範囲で白川から北は歴史遺産型2種地域、白川から南は第4種地域など、場所によって規制が異なる。
- ・伝建地区内では、ほとんど許可不要の面積のものしか申請されない。
- ・申請不要を分かっている、届け出ないこともあるので把握できないこともある。
- ・条例の手続き上では許可不要でも、地域の要望によって、意見交換の案内をしている地域もある。（姉小路・古都に燃える会）
- ・歌舞伎のポスター等、期間限定のポスターは許可が不要。
- ・無地（店の屋号なし）ののれんは、広告物に入らない。

■祇園新橋にふさわしい広告物について意見交換

- ・看板の大きさ、色、掲げてある高さなどが問題になる。派手な色は良くないし、屋根の上の看板も目立ちすぎて好ましくない。
- ・2㎡以上の大きさの看板ならアウトな色でも、小さいため見逃される看板がある。
- ・本社が東京の会社なので、看板にこのような規制があるとは知らなかった。
- ・祇園新橋らしさを、のれんで演出してはどうか。季節によって、のれんの色や素材を変える。
- ・夜間照明にLEDを使っている。まぶしすぎて、見た目はあまり良くない。
- ・電球色が町の雰囲気合うのではないかな？
- ・2㎡以内のものをどう扱うかが課題。

こよみ

9/14（木）

●第33回意見交換会

10/1（日）～10/6（金） 温習会